

2022年11月1日  
第557号

(毎月1日発行)

咲いたネット

URL:

http://www.saitanet.or.jp

Eメール:

saita@saitanet.or.jp



発行所  
埼玉県労働組合連合会

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂  
3-10-11 第一木村ビル

TEL 048-838-0771

FAX 048-838-0775

編集発行人

埼玉県労働組合連合会

【定価】1部50円

(組合員の購読料は組合費に含む)

最賃Tシャツで宣伝



埼玉連・労働法制埼玉連絡会は、さいたま地区労と合同で10月5日(水)に、10月から改定された新しい最低賃金(埼玉県987円)の周知宣伝を行いました。  
17日にも予定した宣伝は、雨で中止となりましたが、5日は予定通り5時30分から大宮駅西口で行い、4団体7人とさいたま地区労から7人の参加となりました。

### さいたま地区労

賃金引き上げ、全国一律最賃求め  
埼玉アクションを実施

埼玉連・労働法制埼玉連絡会は、さいたま地区労と合同で10月5日(水)に、10月から改定された新しい最低賃金(埼玉県987円)の周知宣伝を行いました。しかし、時給987円では、フルタイム(1日8時間・週5日勤務)で働いても1ヵ月16万円程度(税・社会保険料込み)にしかならず、一人で生活している水準には届きません。  
宣伝では、最賃額の周知をするともに、「憲法25条にもとづく普通に生活ができる賃金が必要。そのためにも最低賃金1500円をめざそう」と呼びかけました。  
この時期としては、初めての大宮駅での宣伝で、最低賃金の改定時期ということもあり、話しかけてくる人もいて、関心の高さがうかがえました。  
埼玉連では、この秋に「埼玉アクション」として、各地

春日部労連は10月19日(水)午前7時50分から8時30分まで春日部市役所前で最賃宣伝を行いました。  
当日は秋空が広がる良い天気で、横断幕を広げ、宣伝を開始。道行く人の目は横断幕に注目。「物価高騰に追いつかない賃金。全国一律最低賃金を 中小企業支援とセツトで時給1500円」と打ち出した横断幕です。チラシの受け取りもよく用意したチラシがほとんどはけました。今回の参加は5人でしたが、駅



大宮駅西口

### 春日部労連

前に大勢で集まり宣伝すれば、もっと反応がいいだろうなど11月の駅頭宣伝が楽しみになりました。横断幕は、埼玉連春日部支部の仲間がづくつてくれ、「できることがあつたら言つてください」と言つてくれました。  
10月5日に計画した春日部駅前での最賃周知宣伝は、雨で中止になりましたが、蕨地区労が市役所前宣伝に取り組んだことを「秋の取り組みニュース」で知り、常任幹事会で、「蕨地区労に続こう」と市役所前宣伝をやることに決めました。



春日部市役所前

### \*紙面から\*

■埼玉アクション

(1面)

■埼玉アクション・地域のとりくみ (4~5面)

■なかま増やし交流集会

(2面)

■各組織のとりくみ

(6面)

■自治体訪問行動

(3面)

■埼労共のページ

(8面)

# なかも増やし交流集会・最賃意志統一集会

埼労連は9月23日(金・祝)の午後1時から共済会館で、『なかも増やし交流集会』と『最賃闘争意思統一集会』をオンライン併用で開催、11単産29人、19地域24人、事務局なども合わせて63人が参加しました。

調。たまたかってこそ要求が実現できること、目標をもってこそやるべき方針が鮮明になること、労働組合のすべての運動が役員づくりと組合員の成長の場になることと言及しました。

講演は全労連常任幹事の原英彦さんが、全国の組織拡大の経験と全労連の秋の取り組みについて行い、全国各地でケア労働者や軽貨物で働く仲間の組織化、福岡でのタクシー労働者組織化などを紹介。SNS活用や共済からの組織拡大についても言及しました。

続いて戸事務局長が、なかも増やし交流集会に対する報告を行い、埼労連の今年の現勢が後退した要因として、拡大数が減っていることを明らかにして、大会方針の強調点を述べました。第7期組織拡大中期計画が残り2年となった今の地点から目標である11万埼労連回復は各単産にすると15%増であり、そうなった先の展望として職場の力がついてくることを強

調。たまたかってこそ要求が実現できること、目標をもってこそやるべき方針が鮮明になること、労働組合のすべての運動が役員づくりと組合員の成長の場になることと言及しました。

具体的な秋の課題としてケアユニオンづくり、地域組織における次世代部づくりを呼びかけました。報告を受けて、埼教組、医労連、埼玉土建、蔵地区労協から報告がありました。

休憩をはさんで、最賃闘争意思統一集会が行われました。戸事務局長からの報告で、最賃闘争で社会的な賃金闘争が大きく前進し、埼玉の最賃は2002年678円が2012年771年、2022年は987円となったこと、

昨年には自民党最賃一元化議連事務局長を招き講演会を成功させ、東松山市で全国一律最賃制確立を求める意見書が全会一致であつたことなどを紹介しました。そのうえで、22秋闘では異常な物価高騰に対して賃金引き上げをすべて

の組織でかちとることを中心に、①職場と自治体に要求を出す、②最賃の周知と組織化をすすめる、③全国一律最賃制度実現の取り組みを一気にすすめるとして、経済団体訪問・懇談、全国一律最賃署名を2月まで組合員数分を集めようと呼びかけました。



さいたま共済会館

## 最賃宣伝&新加盟の組合と懇談

鴻北労連は、9月22日(木)夕方、北本駅で最賃引上げ宣伝行動を行いました。

今回の宣伝は10月からの最低賃金を周知する宣伝行動で、5団体15人が参加しました。

埼玉県の新しい最低賃金が987円になることの周知と合わせ、「全国一律最賃制をつくり、時給1500円に」、「仕事でお困りときは埼労連・鴻北労連の労働相談に」と呼びかけました。

当日は、あいにくの天候でしたが、雨降りでも帰路を急ぐ人たちがチラシ・ティッシュに手を伸ばし

**鴻北労連 ニュース**

2022年9月号

鴻東北地域労働組合連合会幹事会

北本市石戸1-217-2 埼玉土建中部

**いのちとくらしを守るため!**

**大増賃上げで生活を守り地域の活性化を訴える!**

9月22日(木)夕方、鴻北労連は北本駅で最賃引上げ宣伝行動を行いました。10月からの最低賃金を周知する宣伝行動には、5団体15人が参加しました。埼玉県の新しい最低賃金が987円になることの周知と合わせ、「全国一律最賃制をつくり、時給1,500円に」、「仕事でお困りときは埼労連・鴻北労連の労働相談に」と呼びかけました。雨降りでも帰路を急ぐ人々もチラシ・ティッシュに手を伸ばして受け取ってくれました。

**労組の結成で職場環境の改善に!**

医労連・なかも増やし労組は、賃金や経営改善などを経営者に結成通知と職場環境の改善を申し入れました。また、鴻北労連と要求実現のための懇談を行いました。鴻北労連で9つ目の単産加盟となります。当面、賃金・職場改善の要求書を提出し、回答を求めて団体交渉の行動を決め、鴻北労連の支援を受けながら活動していくことを決めました。

**定年延長で賃金が7割に!**

鴻巣市職員組合は、9月21日「定年延長学習会」をオンライン併用で開催しました。自治労連本部の林芳男特執を講師に迎え、国家公務員の定年延長の状況や人事院勧告などでの取り扱いなどが報告され、定年延長に向けた地方公務員の制度構築のたまたか一方、「定年延長で賃金概ね7割減」とする国の方向に対する職場の「怒りの声」の結果などが必要があることが示されました。

# 安心・安全の街づくりに向けて

## 2022全自治体訪問行動

今年も11月14日から、県内63市町村への『2022年自治体訪問行動』が始まります。

今年の訪問行動では、3年目をむかえる会計年度任用職員制度の運用について、フルタイム・パートタイムへの各自治体の対応の格差の課題とあわせて、3年ごとの公募について、任用されていた職員が不利益をうけないこと、今後については正規職員との賃金格差を縮めていくことが重要課題となります。

また、公契約の適正化では、公契約条例の制定を展望する視点で公共工事と業務委託の落札率について、設計労務単価の引き上げに



昨年の様子(吉見町)

対応できる仕組みづくりなどの意見交換を深め、自治体職員の意識を変えていく必要があります。シルバー人材センターへの委託業務も課題になります。自治体が発注する業務は、この間派遣に切り替えてきている自治体も増えてきましたが、請負としての委託もまだまだ存在し、トラブル時の補償や労災事故などの問題を抱えています。働かなければ生活していけない高齢者が増加傾向にある現

### 2022年 秋の自治体訪問 日程(案)

集合時間	9:30	12:40	15:10	担当地域 組織	
開始時間	10:00	13:10	15:40		
終了時間	11:15	14:25	16:55		
14日(月)	①	小鹿野町	皆野町	長瀬町	秩労連
	②	川島町	吉見町	東松山市	比企労連
	③	嵐山町			比企労連
	④	所沢市	狭山市		所沢地区労・狭山地区労
	⑤	新座市	志木市		北足立南部
	⑥		上尾市	伊奈町	AOI労連
15日(火)	①	越谷市	吉川市	松伏町	越労連
	②	入間市	飯能市	日高市	入間地労連・飯能日高
	③		鴻巣市	北本市	鴻北労連
	④	杉戸町	宮代町	白岡市	埼北労連
	⑤		横瀬町	秩父市	秩労連
16日(水)	①	ふじみ野市	富士見市	三芳町	入間東部
	②	さいたま市			さいたま地区労
	③	桶川市			AOI労連
	④	ときがわ町	小川町	東秩父村	比企労連
	⑤	朝霞市	和光市		北足立南部
17日(木)	①	寄居町	深谷市		深谷寄居・熊谷
	②		本庄市	神川町	本庄児玉地労連
	③		春日部市	蓮田市	蓮田地労連・春日部労連
	④	川越市		坂戸市	川越・坂戸鶴ヶ島
	⑤	行田市	羽生市		行田地区労
	⑥	加須市	久喜市	幸手市	加須労連・埼北労連
18日(金)	①	蕨市	戸田市		蕨地区労・戸田地区労
	②			川口市	川口地区労
	③	三郷市	草加市	八潮市	三郷市労連・草加八潮
	④	鳩山町		滑川町	比企労連
	⑤		上里町	美里町	本庄児玉地労連
	⑥	鶴ヶ島市	越生町		坂戸鶴ヶ島地区労

状の中で、高齢者が安心して働ける環境について、各自治体がどのような施策を考えているかを確認することも求められます。訪問行動に向けて、9月26日から29日にかけて、各地区協で事前学習会が行われ、地域組織役員・関係産別組織役員・埼労連幹事会から、4地域全体で約70人が参加し、今年の自治体訪問行動の進め方やアンケートから見る特徴などについて学習しました。

10月から11月上旬にかけて、各地域組織単位での事前学習が行われています。それぞれの自治体での課題を整理し、当日の懇談での中心課題を確認してください。今年も、引き続きコロナ禍での懇談ということで、非常時の行政の役割について住民の意識が高まっているも、どんな時でも、安心・安全の自治体行政を求めていくこととあわせて、自治体職員や公契約下で働く労働者が誇りを

もって働ける環境づくりのためにも、公契約に関わる当事者(自治体非正規職員、公共工事の現場で働く労働者、業務委託事業者の下で働く労働者など)からの情報を集め、参加人数の関係もありますが、可能なら当日の参加も組織して、実態を訴えましょう。各地域組織では、懇談当日の参加者の確認と情報収集をすすめる、地域住民の要求として、自治体行政の改善を求めていきたいと思います。

# 駅頭や自治体門前で宣伝 各地域の埼玉アクション

## 所沢地区労

所沢地区労は10月11日(火)の午後5時30分から、所沢駅西口で最賃周知宣伝行動に取り組み、15人が参加しました。

市川議長がマイクを持ち「最低賃金に都道府県で差が生じるのはおかしい。数百メートル先の東京都では最賃時給が1072円、埼玉と85円も差があるのはなぜでしょうか」と問いかけるように訴



所沢駅西口

えました。また、ティッシュを配り宣伝行動に参加している仲間の

も、「何の宣伝をしているの？ 私は、おばあちゃんだからいいけど若い人は大変よね。もつと若い人が声を上げていかなきゃダメよね」と年配の女性から激励の言葉をいただき、署名に協力してくれました。その後、埼玉土建の仲間もマイクを持ち「物価高騰により生活が苦しい。フルタイムで働いても月に約16万円では将来の事を考える余裕が持てない」と訴えがありました。

宣伝行動後に市川議長が参加者に「全国一律の最低賃金実現に向けて引き続き頑張りましょう」とまとめのあいさつをしました。

(所沢地区労発)

## 戸田地区労

戸田地区労は10月5日(水)、埼玉連が提起した埼玉アクションを受けて戸田駅前で最賃宣伝を行いました。



戸田駅

午後4時スタートということもあり3団体4人の参加でしたが、横田議長がマイクを持ち、10月から最低賃金が31円上がり時給で987円になったことを伝え、「最低賃金は全国どこでも1500円以上」を訴えたほか、プラカードを持ちながら通行人や駅利用者に宣伝チラシとティッシュを配布しました。

下校途中の高校生が多かったこともあり、ティッシュを受け取った女子高生3人から「賃金(アルバイト代)を上げてほしいです」と話しかけられ、パネルを見た男子高校生からは「マックが値上がりしたし、給料上がっても、あんま変わらない」と不満が出される

など、高校生からの意見が多く聞かれました。話しかけてきた高校生には、日本は他の先進国と比べて最低賃金が高いことや、賃金の引き上げには国の中小企業支援が必要不可欠なことを話し、「8時間働けば普通の生活ができる、最低賃金は1500円以上が必要だ」と話し、賛同を得られました。

(戸田地区労発)

## 入間東部労連

入間東部労連は10月14日(金)午後6時から、ふじみ野駅西口で最賃周知宣伝を実施し、13人が参加しました。

10月から変わった埼玉県の最低賃金時給987円を周知することとあわせて、「全国一律最低賃金制度」と「全国どこでも時給1500円」を市民に訴えました。

コロナも落ち着いてきたため、チラシといっしょに労働相談フリーダイヤルのミニチラシ入りティッシュを配りながら宣伝をし、受け取った市民の女性から「物価は上がるし年金は下がるので、ほんとに生活が厳しい。ぜひ最低賃金

をもっと引き上げてほしい。家族にこの宣伝の話をしたいからもう1つチラシをもらってもいい？」と激励の言葉をもらいました。

マイクを握った大河内議長は「物価高騰で実質賃金の低下が続いているが、最低賃金が改定しても全国平均で時給961円しかなく、私たちが求める全国一律1500円以上に到底及びません。この地域から安心して暮らしている社会になるように呼びかけていきます」と駅を利用する人たちに強く訴えました。

(入間東部労連発)



ふじみ野駅西口

# 埼玉アクション(各地域のとりのくみ)

## AOI労連

AOI労連は、10月11日(火)午後5時30分から6時30分まで上尾駅西口で、10月からの最低賃金を周知する宣伝活動を実施。5労組15人が参加して元気に行いました。

宣伝では、埼玉県の新しい最低賃金が時給987円になることの周知と合わせて、「全国一律最賃制度をつくり、時給は1500円にしよう」、「仕事でお困りの方は労働相談を」などと訴え、「声



上尾駅西口



蕨駅西口

を上げて改善させよう」と市民に呼びかけました。駅を利用する人たちの反応も良く、用意したチラシと労働相談フリーダイヤルが印刷されたミニチラシ入りのティッシュ300枚はすべて配り切りました。

(AOI労連発)

## 蕨地区労協

蕨地区労協は、10月4日(火)に、最賃宣伝に全県でいち早く取り組み、10月1日から時給987円(31円アップ)に改定された最低賃金の周知を図る駅頭宣伝行動を蕨駅西口で行いました。

この宣伝行動には地区労協役員を中心に4組合7人が参加、最賃改定を知らせるプラスタワーを掲げながら、最賃チラシ、VOICEチラシを配布するともに、行動に参加した埼玉土建、年金者組合、蕨市職、教職員組合の代表

が、それぞれの立場から最賃引き上げと全国一律最賃制度の実現を求めるリレートークを行い、市民に広くアピールしました。また、4日朝は市役所門前で「市役所でも、地域でも、賃上げ・労働組合が必要」と訴える、自治労連原本部の協力により作成したチラシを、コロナ禍のもとで市民のいのちと暮らしを守るために奮闘している市職員への感謝のメッセージを添えたティッシュとともに配布しました。

この行動は、公務職場での組織拡大を地区労協として組織的に支援しようという具体化したもので、自治体職員に「組合の見える化」を図るための行動として取り組み、市職労役員を含め5団体8人が参加しました。

出勤する市職員のビラの受け取りも良く、地区労協では、今後も

継続的な取り組みをしていく構えです。

(蕨地区労協発)

## 深谷寄居地労連

深谷寄居地労連は、10月17日(月)の午後5時30分から、深谷駅北口で最低賃金引き上げの駅頭宣伝行動をおこない、3団体4人が集まりました。

宣伝行動では全員が赤い最賃Tシャツを着こみ、労働相談ポケットティッシュの中に新しくできた「今年の最低賃金31円引き上げ!」のビラを折り込んで、配布をしながら「職場でお悩みがある方はご相談ください」と労働相談の宣伝も並行して行いました。

少しでも興味を持ってもらうために「そもそも最低賃金って何?」、「10月から時給987円以下は違法」、「全国どこでも時給1500円以上が必要な理由」の3つを中心に訴えました。また、駅では学生の利用者が多かったので「自分のバイト先の時給額をチェックしてみましょう」とも訴え、そして、都道府県ごとに最低賃金が設定されていて、地域間格

差があることを知ってもらうためにも、都道府県別の最低賃金の表と全国一律最低賃金1500円のパネルを設置しアピールしました。ティッシュを受け取りパネルの前で足を止める人もいました。今回は仕事の都合等で少人数の参加となりましたが、初めて参加した団体もあり次回に活かせる宣伝となりました。今後も工夫を凝らして「最賃を知ってもらう」ことを意識して取り組んでいきたいと思います。

(深谷寄居地域労連発)



深谷駅北口

# 各地で「国葬」反対の行動が

安倍元首相の国葬が9月27日に国民半数以上の反対のなか強行されましたが、当日は各地で反対運動が行われています。国会正門前では、『国葬反対！国会正門前大集会』がひらかれ、1万5000人が集まりました。

集会では、社民党・立憲民主党・日本共産党・令和新選組の議員があいさつし、沖縄の風からメッセージが寄せられました。また、当日のスピーチでは様々



国会前に1万5000人

な立場から、岸田政権に対する怒りの声があげられ、「民意を無視する岸田政権を追い詰め、打倒するたかひの出発点にしよう」と締めくくられました。

## 熊谷地域労連

熊谷地域労連が参加している熊谷平和委員会は9月27日(火)午後1時30分から2時30分まで、熊谷駅北口で安倍国葬反対宣伝行動が35人の参加で行われ、熊谷地域労連から竹内議長、田口事務局長が参加しました。

年金者組合熊谷支部、社民党、立憲民主党、日本共産党、空襲を忘れない市民の会からスピーチがあり、「年金受給者の暮らしに目を向けて、国葬に使うお金は国民のために使ってほしい」、「この機会に外交をする政府、国民の意思を無視して勝手に国葬することに怒りを感じる」、「統一教会との関係も指摘されている、国葬の法的根拠も示せない国葬に反対」、「十分な議論なく国民の6



熊谷駅での宣伝

割が反対している。私たちの血税で行う国葬には断固反対」、「特別な人を国葬にするのは憲法にそぐわない」、「森友・加計問題、桜を見る会の疑惑が解決していないし、安倍氏は統一教会とも深い関係を持っていた人だ」などと訴えました。

宣伝終了後に、熊谷地域労連の竹内議長が「これからも国葬反対運動をすすめていきましょう」とあいさつして終了しました。

## 比企労連

比企労連は国葬当日、各自治体ウォッチングを実施しています。

東松山市が庁舎で半旗掲揚、公民館一部で半旗掲揚、警察署で半

旗掲揚、比企郡の交番には弔旗、国施設の女性会館で半旗が掲げられました。また、それ以外の比企郡の町村役場、消防署は通常通りの掲揚で公民館には掲げられていませんでした。

また、比企平和委員会の地元国会議員への申し入れ(弔意の強要反対と国葬に参加しないこと)に対し、坂本祐之助議員(立憲民主党)から電話で返事があり、「自分分は国葬に参加しない」と、平和委員会への申し入れに賛同する旨の連絡がありました。

## はたらく女性の埼玉集会

11月23日(水・祝)の午後1時から、はたらく女性の埼玉集会が行われます。 日時 11月23日(水・祝) 午後1時~3時45分

記念講演に白神優理子弁護士を招いて、オンライン併用で行われますので、興味のある方は埼玉労連まで。 場所 さいたま共済会館 参加費 500円 ※オンライン参加は事前の登録が必要。

2022 はたらく女性の埼玉集会

日時 11月23日(水・祝) 13:00~15:45

会場 さいたま共済会館 6階およびZoom

参加費 500円(会場・Zoomとも)

★文化企画 今村幸夫さん(ギター演奏)

★記念講演 講師 白神 優理子さん(弁護士)

「生き生き はたらき暮らすために」  
一憲法いかし ジェンダー平等社会の実現をー

★団体報告 ジェンダー平等にむけた取り組みや  
医療・学校・農業・業者等の取り組みについて

★物販 (手作り品、浴衣グッズ、ハーブティ、電燈籠、化粧品etc)

★実行委員会、「コロナ禍・物販局」  
あなたの声を聞かせてアンケート実施中 COVID-19コードをご確認ください

※参加申込は、それぞれの所属団体へお願いします 申込締め切り 月 日

□所属会 1 □申込先 1

2022年 はたらく女性の埼玉集会 申込書

お名前	所属	電話番号
参加方法 (どちらかに○)	E-mailアドレス (Zoom参加の方は記入を)	
会場 ZOOM		

2022はたらく女性の埼玉集会実行委員会 事務局：埼玉労連労働組合(埼玉労連)  
さいたま市浦和区藤原3-10-11 第1本館ビル2F TEL: 048-639-0771 FAX: 048-639-0776

# 大幅賃上げと格差是正めざし 国民春闘共闘年次総会

全労連や純中立労組でつくる国民春闘共闘委員会は、10月19日にエッサム神田で総会を開き、2023国民春闘方針構想案を提案しました。

提案では、「誰でもどこでも時給1500円以上」などの底上げ要求に重点を置き、低賃金や格差に苦しむ当事者を組合に迎え入れながら、ストを構えて要求・交渉する取り組みを呼び掛けました。

黒澤事務局長は、「自分たちの力で賃上げを実現したと、組合員が実感できる春闘にしたい」と訴えました。

構想案は「物価の高騰を補うだけでなく、さらに生活改善をめざすベースアップが必要。特に、より困難を強いられる非正規労働者や、差別的な低賃金に置かれている女性の賃上げを重視する」との考え方を示しました。

そのうえで、今年の統一要求は各地で行った最低生計費試算調査を根拠に、底上げ要求に重点を置き、誰でもどこでも時給1500

円以上、月額では22万5千円以上の企業内最低賃金の協定締結を提案しました。

方針で特に強調したのが、低賃金や格差に苦しむ当事者に、春闘の要求づくりや交渉、行動に参加してもらうことで、交渉力の強化と組織化推進の相乗効果を図りたいとしています。

また、全ての組合が実力行使（ストライキ）を背景に交渉し「納得できる回答を引き出すまで、絶対に妥協しない」という構えで、上積みを図るまで全力をあげることと呼び掛けています。

男女間賃金格差の是正も春闘期の課題として、例年以上に重視するとして、来年6月に主要企業が男女間賃金差の公表を控えているもとで、各企業に対応を迫る考えを示しました。

集中回答日は、連合労組より1週早い、国際女性デーの3月8日を提案しました。先行回答は3年目となり、当日は「全国中継！特別ネット番組」をインターネット



発言する宍戸事務局長

で放映し、回答速報をいち早く伝える構想も報告されました。

さまざまなアイデアを持ち寄って、楽しみながら春闘をより多くの労働者の身近なものにし、大きなうねりにしていこうという試みで、提案をした黒澤事務局長は、「賃金は経営者が一方的に決めるものではなく、労使交渉で決めるということを多くの労働者に見てもらいたい。春闘を可視化していこう」と訴えました。

埼労連からは、新島議長、宍戸事務局長、尾形事務局長が参加し、宍戸事務局長が埼玉のとりくみについて発言しました。

## 埼高教が秋にすすめる2つのとりくみ

埼高教では現在、9月を準備期間、10月・11月を秋の組織強化・拡大特別月間として、今年度は10月の採用試験2次試験合格発表にあわせた「臨時教職員総対話」と「東西南北ブロックごとの拡大対象者参加型の企画」の2つを提起しています。

1つめの臨時教職員総対話は、臨任者用のグッズを手渡ししながら、採用試験合格者には次年度の条件付き採用期間の不安定な身分を支える、不合格者には次年度の任用をつかみ取るために力になれ

るという対話を進めるものです。2つ目の東西南北ブロックごとの拡大対象者参加型企画は、学習会、何でも相談会などを企画し、未組合員を誘い組合がどのようなことをしているのかを知ってもらうことをきっかけに対話を進めるものです。また、専門部では独自にリーフレットの作成、アンケート、学習会に取り組んでいます。拡大月間30人以上の拡大を達成し、12月の埼高教最大のとりくみSAITANE!2022を大いに盛り上げていきたいです。

埼労連の組織拡大月間に合わせる形で、全労連共済の利用促進を図るためにキャンペーンを実施しています。対象は、全労連共済の「生命」「医療」「火災」「セツト」「自動車」「年金」などで、表の特典があります。

利用できるのは、組織共済に加入している組織に所属している組合員となります。詳しくは、所属組合の共済担当者もしくは埼労連にお問い合わせください。

### 全労連共済 推進キャンペーン

組合員へ	対象内容	概要
クオカード 1000円分	・自動車共済の新規加入（他社からの掛け替え含む） ・火災共済の新規加入または増口（10口以上） ・セット共済の新規加入	1台1件
クオカード 500円分	・自動車共済の見積もり（すでにキャンペーンを受けた車両は除く） ・「生命」「医療」「緩和医療」「交通災害」「シニア生命」「シニア医療」「年金」の新規加入	1台1件
単産組織へ	対象内容	概要
クオカード 5000円分	・単産ごとに上記の契約5人ごと（自動車共済は除く） ・自動車共済は見積もり10件ごと	

# なかまの生活応援の推進を確認 埼労共第18回総会開催

埼労共は、10月22日(土)に埼玉教育会館で第18回総会を開催しました。

総会では、2021年度の運営の特徴として、組合員の生活応援のための共済学習の強化、福利厚生文化事業として、映画「わが青春つぎとも」の独自上映および助成、社会貢献活動としてウクライナ人道支援募金など幅広く事業に取り組んだことを確認し、2022年度は各事業の利用推進、特に共済加入を重視し、そのための共済学習と運営体制の強化を図っていくことを確認しました。最後に新年度の役員体制を承認してもらいました。

なお、総会に先立ち、ファイナシヤルプランナーの土佐氏を招



学習会の様子

き、共済の重要性と保険を見直しして可処分所得を増やすこと。ライフステージや万一の備えを考えた保障内容などについての全体像をとらえる「共済学習会(自由参加)」を開催し、24人が参加しました。

新年度役員は次のとおり。

【理事長】新島善弘

【副理事長】畔上勝彦、尾形佳宏、

【専務理事】山崎秀弘

【常務理事】加藤靖

【理事】磯前ひろ子、中山松夫、箱田友紀、町田誠

【監事】占部修吾、宍戸出

## 11月の上映案内

11月の上映は「戦争と青春」です。戦争の悲惨さを二度と繰り返さないために語り継ぐ。1945年東京大空襲の悲惨さを描きた今

## フードバンク 第77・78便

埼労連のフードバンク第77便は9月30日(金)、フードバンク埼玉の窓口・埼玉労福協に届けられました。

今回は熊谷地域労連が2回にわたって、清涼飲料水3箱、玄米30キログラム、三郷市労連がレトルト食品、SUからインスタントラーメン、調味料、餅などが提供され、合計で68・4キログラムになる提供となりました。とりわけ玄米の提供がフードバンク埼玉から喜ばれています。

また、埼玉春闘共闘とともに闘っている国労大宮工場支部が、組合員にフードバンク活動を知らせ、取り組みを呼びかけたところ、昨年から行っている経験もあ

井正監督作品。工藤夕貴主演で、井川比佐志、奈良岡朋子、樹木希林、栗原小巻などが出演しています。

日時 11月29日(火)  
① 10時30分

② 14時  
③ 18時30

場所 埼玉会館 小ホール  
埼労共専用入場整理券利用で、900円でご覧いただけます。

り、清涼飲料水4ケース、カップ麺5箱、白米、レトルト食品、インスタントラーメン、焼き海苔、パックご飯などが、10月8日に埼労連に届けられました。当日は泉田委員長、増田書記長が軽トラックで埼労連に搬入、埼労連は新島議長が受け取り、「さっそくフードバンク埼玉の窓口・埼玉労福協に届ける」と対応し、第78便として10月13日(木)にフードバンク

埼玉に搬入、80・3キログラムと久しぶりに大量の保存食品提供となりました。

埼労連の新年度の取り組みでも、社会福祉運動としてフードバンク活動を推進し、特に各単産・地域組織から保存食品を提供してもらおうフードドライブに力を入れていきます。単産・地域組織でのフードバンク活動の普及をお願いします。



フードバンク77便



フードバンク78便